



カエデ

Kaede

vol.7

2007 NOV.

ガーデンを考える会 会報

今月のコラム

「I.G.C.A.congress 2007」

石川 昇

(Ai Corporation)

(株式会社グリーンプラザ)

I.G.C.A.2007世界大会が南アフリカに於いて10月7日～12日に開催され、日本から9社が参加した。来年はカナダのバンクーバーで再来年はイギリス、そして2010年は日本で開催が予定されており、その受入準備も始まろうとしている。

「百聞は一見に如かず」目で見て、体で感じて世界レベルを知る。南アフリカはガーデンセンター経営の関係者は必見の所であり、世界のガーデンセンターを語る人は、この地を見てからと言えるくらいガーデンセンターの本来の姿を学んだ感じである。

人口1000万人以上と言われる大都市ヨハネスブルク周辺には、好景気を反映し住宅建設が各地に進められており、住宅エリアでは必ず安全・安心を保つため尖った鉄製フェンスや、レンガの塀の上部には有刺鉄線や電気が通じているワイヤーが張り巡らされている。治安維持のためであり、住宅地まで動物が襲うためのガードではない。

日本の外務省のホームページでは、公共の乗物、つまり電車・路線バスには、絶対に乗らないで下さいとのこと、治安は最悪で盗難事件が多くひたくり、かつばらい、強奪、略奪、なんでもありの国である。しかしホテル内は楽園である。当然セキュリティは完璧でないといけませんが、自分のホテルの部屋の扉が開かず、キーカードを3回も変えてもらうなど、部屋に戻るごとにひと苦勞する。自分が入れないホテルの部屋、これはセキュリティの行き過ぎではないか？

ガーデンセンターの話に戻ろう。ここも当然ながら安全・安心の場でないとお客様が来ないから、店内のガードは相当で、安らぎの安全地帯であり、ファミリーが休日のひと時を過ごす場であり、そこにはレストラン、クラフトショップ、メイクアップ、エステ店、そして子どもたちが楽しめる遊具はもちろん、野鳥グッズの品揃えと小動物がいるコーナーなどを設置してある。アガパンサス10種ほどフォルミウム20種ほどなど地域性のある植物も多く販売されているが、単なる植物やペットを購入する店舗としてではなく、子どもからお年寄りまで、家族の楽しい思い出づくりを創出してくれる場である。住宅から一歩外へ出るとこの国では、治安が悪いため、安全・安心と楽しみを売る店舗が人気のようだ。家庭においては余暇の時間に、塀の中？のガーデニングである癒しのスペース作りが、家庭でも植物を通じて始まる訳である。



ガーデンセンターの売場の一部。日本でこんな店舗あるかなー

過去の開催地が刻印されている鐘
これを点鐘することにより集合時間を告げる

真剣にレクチャーを受ける参加者

ガーデンセンターを15店舗ほど視察した中に、売場10000㎡以上、駐車場250台以上の店も数多く、平均客単価も4000～5000円である。会計レジ設置数を見て裏付けされよう。日本のガーデンセンターとは、あまりにも異なり大きなショックを感じ、欧米などのモデルとなるガーデンセンターは数々あるが、この国のガーデンセンターを見ずして世界のガーデンセンターは語れない。南アフリカと10～20年くらいの格差で我が国は遅れているだろう。

I.G.C.A. が世界のガーデンセンターのレベルアップに貢献していることは言うまでもないが、さらに切磋琢磨して世界各地で地域の信頼を高めていくことであろう。

江戸時代の末に渡来した英国のロバート・フォーチュンが日本の園芸を絶賛したように今、私はこの南アフリカに同じ思いを写し見た。

※I.G.C.A. = インターナショナル・ガーデンセンター協会



ホテルの駐車場の手前は大きなバラの花壇。奥に見える建物は進入車両をチェックするゲート

鉄のフェンスに有刺鉄線、そして電気が通じているガードライン
店舗も住まいもオリの中？



最新 NEWS

◆第39回技能五輪国際大会開催

技能五輪国際大会日本組織委員会は、「第39回技能五輪国際大会」を11月15日（木）～18日（日）、静岡県沼津市門池地区で開催する。同大会は2年に1回、22歳以下の若者を対象に行われる国際的な技能オリンピック。造園競技（ランドスケープガーデニング）には15カ国30名の選手が参加し、2人作業で22時間以内に課題の庭を作る。

入場は無料。三島・沼津駅よりシャトルバス有り。

問い合わせ／同大会日本組織委員会＝TEL03（3815）5169

◆第6回新しい造園樹木の研修会、造園関係者100名募集、11月28日、立川で

（社）日本植木協会の今年の新しい造園樹木の研修会は、会場を東京郊外の立川市に移し、画像ではなく生きた実物の樹木を間近に観賞し、参加者は五感で新樹種を体感できる。講演は、樹木医でもある東京都公園緑地部の小林明氏による「東京都の街路樹倍増計画について」の予定。

造園CPD制度認定プログラム。計画・設計・造園の現場関係者を100名募集している。

参加費2000円。11月28日（水）13時～17時。東京都農林総合研究センター（立川市）

問い合わせ／日本植木協会新樹種部会＝TEL03（3586）7361

今月の会員紹介

株式会社細野ライフデザイン

グラフィックデザイン
巣箱

& テラコッタ



株式会社細野ライフデザインはデザイン・広告企画を主体に営業を続け、来年25周年を迎えます。また1998年にフィールドファイン事業部を立ち上げ、「野鳥の巣箱」のデザイン・製造販売とテラコッタ陶芸教室の運営を始めました。

巣箱はネット販売を中心に。テラコッタ教室は東京・神奈川・千葉の10拠点で楽しく開催しています。フィールドファインは『私達にできる事』『私達にしかできない事』をモットーに、自然を身近に感じ、環境を考え、活動をしています。

fieldfine



[http:// www.fieldfine.com](http://www.fieldfine.com)

事務局だより

ご存知の方も多いと思うが、ガーデン会の事務局は、名古屋の㈱グリーン情報内にあります。ここに、新たに「日本園芸文化ルネッサンス協会」（小笠原左衛門尉亮軒会長）の事務局を設けることになりました。同協会は、日本が誇る伝統園芸の復活・普及のために有志が集い、7月に設立されました。伝統園芸の素晴らしさを啓蒙普及するとともに、実際に伝統鉢や古典植物などを協会で企画し、復刻販売するなどビジネスを通して実践していきます。当面、（社）園芸文化協会監修・企画による「伝統園芸鉢」の制作販売を行なうことにしており、会員を募集中です。

ガーデンを考える会 事務局

〒451-0045 名古屋市西区名駅2-25-10 ヤマエイビル4F

TEL：052-571-7911 FAX：052-571-2208

E-mail：npogarden@green-joho.jp